

私の一句

町民俳句コンテスト入賞者・作品

最優秀賞

▷ 渡邊 優陽 (葛巻小3年)
秋祭り はじめの一步 ふみしめる

優秀賞

▷ 遠藤 陽人 (葛巻保・年長)
ピカピカの つよいたいよう ぼくもなる

▷ 関根 ももこ (葛巻小5年)
夕立は 泣けない時の 代わりかな

▷ 上打田内 龍弥 (葛巻中2年)
午前四時 足跡残す 狐かな

▷ 角地 真桜 (葛巻高3年)
黒猫の にゃあと鳴く夜の 籠月おぼろつき

奨励賞

▷ 山下 悠翔 (江刈保・年長)
あじさいの はなびら ヘリコプターみたい

▷ 木戸場 乃愛 (江刈保・年長)
ひるがおを こすってみたよ あかいらだった

▷ 和野 友哉 (葛巻小1年)

▷ 岩澤 玲王 (葛巻小3年)

▷ 田澤 寿珠 (葛巻小6年)

▷ 鉾谷 理菜 (小屋瀬小5年)

▷ 恵津森 大貴 (五日市小5年)
※小学生5人の作品は、18ページ「俳句を楽しもう」で紹介しています。

▷ 川原 光生 (葛巻中3年)
初登山 天のふもとで 深呼吸

▷ 高橋 純矢 (江刈中2年)
花火見る 僕はそーっと 手をつなぐ

▷ 本宮 竜仁 (葛巻高2年)
竹林に 鎮まる社 苔紅葉

▷ 江田 彩夏 (葛巻高2年)
幼子の 指差す先に 赤紅葉

▷ 鳥居 京子 (浦子内)
秋彼岸 介護の日々も 懐かしく

文化やスポーツの功績たたえる

このたび表彰を受けられた方々を紹介します (敬称略)

教育委員会表彰

▷ 久保 春汰 (五日市小4年) 県歯科医師会主催の平成28年度歯・口の健康に関するポスターコンクール小学校4～6年生の部で金賞

▷ 小野寺 雄飛 (江刈中3年) 国税庁並びに全国納税貯蓄組合連合会が募集した中学生の「税についての作文」県納税貯蓄組合連合会長賞

▷ 高澤 安男 (大沢) 第69回岩手芸術祭写真部門で優秀賞

三浦梧楼賞表彰

▷ 千葉 若菜 (吉ヶ沢小5年) 久慈歯科医師会主催の平成28年度歯・口の健康に関するポスターコンクール小学校4～6年生の部で金賞

▷ 家田 和佳 (葛巻中3年)
第26回グレンチェンピオノコンクール全国大会で奨励賞

▷ 小向 優弥 (葛巻中2年)
県極真空手道選手権大会中学校2～3年生男子上級の部で優勝

▷ 葛巻小学校 「水生生物による水質調査」実施団体県知事感謝状を受賞

第37回読書感想文コンクール

▷ 教育長賞 日向 瑛美 (江刈小2年) 芳田 綺華 (吉ヶ沢小4年)
近藤 美桜 (葛巻小5年) 家田 和佳 (葛巻中3年)
石角 珠乃理 (葛巻高1年)

▷ 公民館長賞 関根 みさと (葛巻小1年) 本宮 真佳 (江刈小1年)
大下 由菜 (小屋瀬小4年) 角口 羽音 (江刈小4年)
本宮 愛笑 (葛巻小6年) 村井 華華 (小屋瀬小6年)
酒多 剛大 (葛巻中2年) 芳田 颯斗 (小屋瀬中3年)
阿部 美咲 (江刈中2年) 村木 文音 (葛巻高1年)
澤 望怜 (葛巻高2年) 鳥居 京子 (浦子内)

公民館図書多読表彰

①馬場 國雄 (星野) 301冊 ②日向 瑛美 (江刈小2年) 260冊
③日向 佑実 (江刈保・年中) 256冊 ④菅原 カズ子 (小屋瀬) 251冊
⑤橋場 明美 (小田) 249冊 ⑥下天 広 椿 (葛巻小1年) 199冊
⑦下天 広 楓 (葛巻小3年) 196冊 ⑧高井 優子 (新町) 158冊
⑨遠藤 礼二郎 (江刈小3年) 154冊 ⑩木下 真利子 (五日市) 128冊



1 オープニングで美しいバイオリンの音色を響かせた保育園と児童館の年長児。1年間の練習の成果を堂々と発表した 2 教育委員会表彰は3人が受賞 3 葛巻小PTAの田澤文化部長による実践発表 4 つどいをスムーズに進行した司会の角地美桜さん、真桜さん姉妹 (ともに葛巻高3年)

町青少年健全育成ネットワーク主催の「子どもの未来を考える町民のつどい」は2月11日、総合センターで開催され、出席した約200人が青少年の健全育成に向けての思いを新たにしました。

町内の保育園と児童館の年長児によるバイオリン演奏で開会し、教育委員会表彰や三浦梧楼賞表彰、町民俳句コンテストなどの表彰が行われたほか、実践発表では、葛巻小PTAの田澤真澄文化部長が同校のPTA活動を紹介します。その後、町体育協会職員の指導の下、出席者全員が軽体操に取り組みました。

最後に「スポーツが私にもたらしめるもの」が岩手国体を通じてテーマにパネルディスカッションが行われ、アルベールピックオリンピック金メダリストで県体育協会スポーツ特別指導員の三ヶ田礼一さんのほか、町内の国体関係者3人が活発に意見交換を行いました。



子どもの未来を考える町民のつどい

パネラーにアルベールピック五輪金メダリスト・三ヶ田さん

パネルディスカッション



岩手国体ホッケー成年男子監督兼選手 葛巻高教諭 福士 紘平さん (25歳)

国体では、大声援の中で試合できる喜びと、県選抜で戦えたことが今後の自信につながった。葛巻の子どもたちは、とにかくひたむき。目標達成のために、その道や環境をつくってくれる大人がいるので、多くの経験を積み、自信を持って選んだ道を進んでほしい。



五日市メッツスポーツ少年団監督 恵津森 哲夫さん (47歳)

国体では、子どもたちに迫力ある野球を体感させることができた。スポ少には、家庭や学校にはない厳しさや優しさがあり、子どもを大きく成長させてくれる。子どもを育てる環境は変化が激しいが、親として目標を持たせ、道筋をつけてあげるのも必要である。



岩手国体 葛巻町炬火代表者 葛巻高2年(野球部) 阿部 海翔さん

軟式野球の運営に携わり、さまざまな方が関わって私たちは試合ができてることを再認識した。子どもにはいろいろな期待がかかっているが、自分から頑張ろうという気持ちが大事だし、スポーツを楽しむことも大事。将来もスポーツに関わって生きていきたい。



県体育協会 スポーツ特別指導員 三ヶ田 礼一さん (50歳)

国体を通して、県民のスポーツへの関心が高まったと実感している。人間力を高めることが、競技力の向上につながる。子どもたちには「基本」の重要性をしっかり伝え、岩手からオリンピック選手を輩出できるように、今後もしっかりサポートしていく。